

見てね!



薬剤師の活動や参加イベント情報などをお伝えしていきます!

■ 薬剤部ゼミ報告



今回、私は「神経発達症(発達障害)」についてゼミで発表しました。このテーマは、Webメディアなどで取り上げられることが多くなっていますが、診断や支援方法について自分があまり理解していないと感じ、選びました。

発表を通じて、診断名の変更や検査、支援方法について学ぶことができました。

現在、医療は日進月歩を超えて、秒進分歩の勢いで進歩していると言われてます。そのため、日々の知識のアップデートが重要であると改めて感じました。

ゼミは、自分の興味がある分野についてインプットしたことをアウトプットする良い機会だと思います。〈金子〉

■ 実務実習生の症例に関して

【早期乳癌術後化学療法について】

今回の症例報告では、早期乳癌の術後化学レジメンの評価と患者面談にて副作用アセスメントを行っていただきました。POTENT試験とMonarchE試験の該当条件を調べてもらい、正しい治療を選択しているか考えてもらいました。

また面談も付き添いで同行して、実習生が主に面談してもらい、お薬や副作用の確認をしていました。短い時間での実習でしたが、患者さんとかかわることができて良かったと思います。

また、文献検索や面談など意欲的に取り組めていました。将来、同じ臨床の現場で働けること期待しています。〈峯岸〉



【アナモレリン投与を検討中の患者に対しての がん悪液質のスクリーニング評価と予防策】

がん悪液質は前悪液質、悪液質、不応性悪液質に分類されますが、今回は前悪液質の患者さんに介入となりました。

悪液質の評価方法を学び、実際に評価し、どうしたら進行を予防できるのかということ薬学的視点のみならず、栄養や運動も含めて検討をしました。

面談を重ねるたびに、患者さんにかかる言葉が変わり、悩み考える時間が増えていきましたね!目の前にいる患者さんに何度も何度も全力で向き合う薬剤師になってもらえることを願っています。〈香内〉



【誤嚥性肺炎の治療と予防策】

脳梗塞後に起きた誤嚥性肺炎の患者さんについて経過を追ってもらい、疾患の概要と実際に行われた治療、自分が考える予防策について症例発表してもらいました。

治療に関しては抗菌薬のエンピリック投与、原因菌同定後の抗菌薬の選択の妥当性について考察してもらいました。予防に関しては薬剤師の目線から薬物療法による誤嚥性肺炎の予防としてサブスタンスPに着目し

て考察してもらいました。

データや身体状況など患者さん個々に違ってしますので大学で学んだ知識通りにいかないことも、もちろんありましたが実務実習を通して患者さんに寄り添い、臨機応変に対応できる薬剤師を目指して頂ければ幸いです。〈小林〉



■ 今年の漢字



変化が多い医療現場や職場環境において、焦らず確実に成長できるよう、全体で協力して一歩一歩前進しながら、患者や医療現場に貢献できる薬剤部を目指していく。〈齋藤(隆)〉



■ NST専門療法士認定合格



NST専門療法士認定制度は、患者さんに最良の栄養療法を提供するための栄養サポートチーム(NST)の一員として優れた人材を育成することを目的とし、日本栄養代謝学会(JSPEN)が認定する資格制度です。当院は認定教育施設として40時間の臨床実地修練を行っています。その中で、静脈栄養・簡易懸濁法・配合変化などについての講義を依頼されて行っていましたが、臨床栄養学に関する知識を持たずに講義していることに対して不安を覚え、今回資格の取得を目指しました。

試験勉強は、私自身関わりの少ない外科系の内容が多い上に範囲が広く、どれだけ勉強しても自信がなかったのですが、栄養科科長をはじめ栄養科スタッフの手厚いバックアップのおかげでなんとか合格出来ました。また、医療のあらゆる分野で栄養が関わっていること、その重要性を再認識できました。

福島県では認定看護師等養成事業としてNST専門療法士も含まれており、資格取得に係る経費を援助してもらえるので、サブスペシャリティな資格として目指してみるのもいいかなと思います。〈江川〉

■〈新人研修〉 緑川さん



外来化学療法チームでの研修ではがんに対する知識だけでなく、患者さんとのコミュニケーションの取り方や効率よく業務を行うにはどうすればよいかなど、様々なことを学ぶことができました。がんについては教科書的な治療法よりも論文や海外での実績から治療方針を決めていくことがあるため常に知識のアップデートが必要であることを改めて感じました。

また、外来の患者さんが帰宅するまでに決められた業務を終わらせなければいけないため、より時間を意識して行動することを心がけました。効率よく行えるようになるにはまだ時間はかかりますが、今後活かせるような経験ができました。

感染についての研修ではこれまで少し曖昧にしてきた部分の知識を整理することができました。これまでは医師の判断に任せていた部分もありましたが、今後は学んだことを活かしてよりよい抗菌薬の使いわけを提案できるようになりたいです。

個人的な感染対策についても、コロナやインフルエンザの感染が収まってきたことで気が緩むこともありますが、手洗いうがい等は今後も意識して行っていきます。

■新しいPCさん紹介(PharmaCrew)

私がファーマクルーの仕事に興味を持ったのは、職場見学の際に、未経験でも専門的な知識を学べ、女性でもやりがいを持って長く勤めることができる仕事であると感じた事です。

職場の雰囲気活気があり、皆さんが生き生きと仕事をしており、自分と一緒に頑張りたいと思いつきました。

今まで病院関連の仕事は未経験で、薬の知識もないため最初は大丈夫かと不安はありましたが、分からないことは薬剤師の方々がきちんと教えてくださり、ファーマクルーの先輩方も優しくフォローして下さるので、とても安心して楽しく仕事をする事ができています。

薬剤師の方々の仕事をしっかりとサポートできるよう、これからも日々努力していききたいと思います。



菅原 真美 さん



五十嵐 美咲 さん

昔は社交的で人と関わる事が好きでしたが、今では少し内向的になったと感じることが増えました。そんな自分にとって新しい職場に飛び込むことは大きな勇気と挑戦でした。それでも自分の成長を信じて転職を決意し、現在は薬剤科でファーマクルーとして働き始めて2カ月が経ちました。

薬の知識も全くない状態からのスタートでしたが、職場の方々はとても親切で一度教わったことでも質問すれば何度でも丁寧に教えてくださいます。

「焦らなくていい」「ゆっくり覚えていけば大丈夫」と温かく見守ってくれる環境のおかげで少しずつですが業務にも慣れてきました。

薬剤師の方とも接する機会があり「仕事には慣れましたか?」「分からないことは遠慮せず聞いてくださいね」と忙しい中でも優しく声を掛けてくださりその気遣いがとてもありがたいです。

これからも学びを重ね、今後薬剤科という専門分野での新たな挑戦においても私はチームの一員として薬剤師の方々が患者様に最良の治療を提供する為の環境を整えサポートできるよう努力を続けていきたいと思います。

■ 企業説明会の報告マイナビ仙台



1月12日にマイナビイベントに参加する機会をいただきました。

東北医科薬科大学7名、東北大学3名、北陸大学1名の学生が当院のブースに足を運んでくれました。このイベントを通じて、薬剤師という職業に対する学生たちの熱意と真剣さに触れることができ、自分自身もさらに努力しようと思われました。

特に印象的だったのは、病院薬剤師としてのやりがいに関する質問が多く寄せられたことです。患者さんに寄り添い、医療を支える薬剤師の役割への関心が高いのだと感じました。

また、「認定薬剤師になれるか?」「給与はどのくらいになるのか?」など、現実的かつ将来を見据えた質問も多く、学生たちの意欲が伺えました。このイベントを通じて、学生の皆さんが薬剤師という職業に一步踏み出すきっかけになったことを願っています。そして、一人でも多くの未来の仲間が応募してくれることを心から祈っています。(木本)